



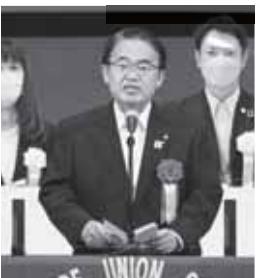
rengo aichi kawaraban

連合愛知

かわら版
2022.11

日本労働組合総連合会 愛知県連合会【連合愛知】

かわら版 2022.11 NO.367

議長団:
私鉄総連 石川 伸子 代議員(左)
セラミックス連合 芝山 公治 代議員(右) 祝辞を述べられる大村愛知県知事

10月28日(金)、名古屋市公会堂にて第34回定期大会を開催しました。
新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めつつ、昨年より参加者を増やし、傍聴者を除く全執行部・代議員総勢632人が参加しました。

可知会長より連合愛知を代表し、春闘・社会貢献活動・国政選挙をはじめとした2022年度の取り組みに対する振り返りと、来期の取り組みの柱である仲間づくり支援、ジェンダー平等の実践と拡大、愛知県知事選、統一地方選についての思いが語られ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に取り組む旨の挨拶がありました。(会長挨拶全文は2ページに掲載)

その後、中島事務局長より新たな試みとして動画による2022年度活動経過報告が行われました。

続いて決算報告の後、「2022~2023年度活動方針補強(案)」、「2023年度予算(案)」、「連合愛知規約・大会運営規則の一部改定(案)」が審議・可決されました。

最後に、特別決議として近藤会長代行より提案された「第20回統一地方選」必勝決議(案)の承認を受け、会場の全員が一致団結し全推薦候補予定者の必勝を誓って「がんばろう」を行い、定期大会の幕を閉じました。



すべての働く仲間の 「必ずそばにいる存在」となるべく運動を

連合愛知第34回定期大会 可知会長挨拶

連合愛知第34回定期大会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本大会は、今年度の活動を振り返り次年度の活動に繋げるべく、2022～2023年度運動方針を補強する中間年度の大会となります。

新型コロナウイルス感染症への対応が続く中で、一昨年は書面決議、昨年は代議員を1/3に絞りリアル開催、今年は傍聴を除く全代議員を招集した形で開催に至りました。関係各位のご理解・ご協力に感謝致します。

先ずは今期一年、コロナ禍が長期化する中で構成組織・加盟組合・地域協議会の皆さんには、連合愛知の運動にご協力頂きましたことお礼を申し上げます。

冒頭挨拶では今期の振り返りと来期の方向性について、特徴的な項目に触れ、詳細は、後の経過報告と議案提案に委ねたいと思います。

今期もスタートからコロナ対応に留意を余儀なくされる中で、Webやリアルの開催形態をその時々に使い分けながら、各種取り組みを進めて参りました。具体的な取り組みとして、春季生活改善闘争、社会貢献活動、政策実現に向けた取り組みの3点について触れたいと思います。

1点目は2022春闘です。経済・社会の原動力となる「人への投資」を積極的に求める「未来づくり春闘」を掲げ、すべての組合が賃上げに取り組むことを基本に、全体の底上げと同時に規模間・雇用形態間・男女間などの格差は正や働き方の改善を目指して取り組みを進めました。コロナ禍の長期化で回復が遅れている業種では厳しさが色濃く残り、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が危惧される不透明な環境下にありました。

結果として要求提出組合は増加し、賃上げ回答を引き出した組合も大幅に増えました。とりわけ多くの中小労組においては、額・率ともに昨年を上回る回答を得るなど健闘し、総じて賃上げの流れを継続することができたと受け止めております。

また、2023春闘におきましても賃上げの流れを社会全体に波及させ、全ての労働者の賃金の底上げ、底支え、格差是正を目指して取り組みを進めて参ります。

続いて社会貢献の取り組みです。助け合い運動や書き損じハガキの収集に加え、近年拡充している取り組みが「フードドライブ活動」です。この取り組みは、生活に困窮する家庭に食材を送るために、組合員皆さんの家庭から持ち寄って頂いた食材や連合愛知のここあファームで収穫された農作物を、フードバンクであるNPO法人に提供するものです。

本取り組みを始めて5年、今期は約4トン弱の食材を集め、フードバンクを通じて困窮する世帯に送られました。食材は年々増加傾向にあり、その上、本取り組みが多くの加盟組織の中で広がってきたことは喜ばしいことです。しかし、コロナ禍の長期化で生活に困窮する家庭は増え続け、更に物価の高騰は生活に困窮する方にほど、大きな影響を与えます。低所得者層への一時的な給付では不十分であり、何等か税制上のセーフティネット構築などが必要と考えます。

連合愛知としては、困っている人の少しばかりの助けになればとした思いで、今後より一層注力して参りたいと考えております。

続いて政策実現に向けた衆議院選挙と参議院選挙についてです。

振り返ってみれば昨年の大会は、正に第49回衆議院選挙の最終盤でした。推薦を取り消した11区を除く全14選挙区について、推薦候補者の当選に向けて全力で取り組みましたが、小選挙区4名、比例代表3名の計7名の当選に留まり、前回より3議席を減らす結果となりました。候補者の所属する政党と構成組織が支持する政党が異なる状態での選挙戦は、取り組みに様々な弊害が生じ、組織力の発揮や活動量が限定的になったことは否めません。

連合愛知としては、「組織一丸となって取り組める体制づくりを中心において構築するよう本部に求める」と総括し、既に半年後に迫った参議院選挙に挑むことにした訳であります。

そして7月10日に投開票された第26回参議院選挙では、全国的に旧民主党系が苦戦・惜敗を重ねる中で、全国比例では、連合組織内候補者9名中8名が当選を果たしました。

愛知選挙区においては、全国で唯一立憲民主と国民民主の現職が立候補、連

合愛知は組織内候補齊藤氏、推薦候補伊藤氏の現職2名の当選を至上命題として取り組みました。結果は僅差でしたが現職2名の議席を守ることができました。土俵際ながらも踏み止まれたことは底力であると捉えております。ご支援を頂きました皆さんに深く感謝を申し上げます。



連合愛知 会長 可知洋二

他にも様々取り組んでおりますが、総じてコロナ禍という環境下であったものの、運動を止めることなく前進させられたものと受け止めております。

続いて来期への思いについてですが、引き続き私たちが目指す「働くことを軸とする安心社会」といった社会像を具現化すべく、「まもる・つなぐ・創り出す」を3本柱とし、他の項目で運動の下支えと補完を行うべく取り組んで参ります。

とりわけ、コロナ禍が私たちの取り組みに大きな制約を与えた仲間づくり支援や、組織事情などから目標到達に時を要するジェンダー平等の取り組みは、反転攻勢に転じなければなりません。弱い立場の労働者を守るために新しく労働組合を作る取り組みは、連合の重要な使命であり、社会から求められている役割です。加えて、運動のあらゆる側面にジェンダー平等の視点を持つことが肝要であり、その実践と拡大が私たちに求められております。

これら肝となる連合運動を前面に打ち出し、強力に推進して参りたいと考えておりますので、構成組織・地域協議会の各段のご尽力をお願い致します。

それでもう1点は、来春の愛知県知事選挙、そして統一地方選挙です。

働く者・生活者の視点に立って地域づくりに尽力する候補者を当選させることは、連合の使命です。来年で言えば、私たちが推薦を決めた大村知事や各級議員候補です。

しかしここ数年来の選挙戦を振り返った時、組合員の政治離れは進んでいると考えます。労働運動を牽引する私たちが、職場を起点とする原点に立ち返り、政策制度課題の重要性について組合員に向き合うことが必要不可欠です。それが政治への参画意識を向上させ、引いては、来るべき取り組みに繋がっていくと確信しております。もう一段、より一層の努力を共に進めて行きたいと思います。

ロシアのウクライナ侵攻、その惨劇の悲惨さに私たちは、目を背けることなく反戦の声を上げ続けます。世界秩序は身勝手極まりない大国の戦争行為によって、もちろん崩壊しました。この現実に日本はどう向き合うのか。もはや対岸の火事ではない、日本における安全保障は脅かされ、リスクは劇的に増大したと言えます。

他方、国内に限ってみれば人口減少による社会構造の課題が山積したままであることに加え、現下の歯止めがかからない円安や物価高が、私たちの暮らしや雇用に今後どのような影響を及ぼすのか、言いようもない不安に覆われているのではないでしょうか。

混迷する時代、将来どころか一年先さえも見通せない現状にあるからこそ連合愛知は、すべての働く仲間の「必ずそばにいる存在」となるべく運動を模索して行きます。連合運動に対する組織内外の幅広い理解・共感・参加を広げていくため、引き続き、新たな運動スタイルの実践を含めコミュニケーションの活性化を追求して参ります。

以上、繰々申し上げましたが、構成組織・加盟組合・地域協議会の皆さんのが、連合愛知の運動を進める上での原動力であります。

迎えます新年度、連合愛知55万人が一層団結して取り組みを進めて頂くことをお願いすると共に、私たちの運動が更なる飛躍を遂げることを祈念し、連帯の挨拶といたします。共に頑張りましょう。

2022ユース・フォーラム

「SDGs」について見識を深める

CNG委員会ではSDGsを学ぶ活動を行っています。この一年間は、その中でも「貧困について」をテーマとし、施設の訪問や学習を行ってきました。それらを通じて、委員の皆さんのが学んだことや、感じたことを広く同世代と共有することを目的に10月8日(土)にグランコート名古屋で「2022ユース・フォーラム」を開催しました。



基調講演として「SDGsについて」と題し、お笑い芸人で大学教授も務めている「黒ラブ教授」を講師としてお招きし、お笑いを



交えつつSDGsについて学びました。その後、CNG委員会の活動報告としてこの1年間で学んだフードバンク活動や、子ども食堂の視察報告を行った後、「SDGsについて、興味があること・やっていくこと」をテーマにグループディスカッションを実施し、活発な意見交換が行われました。参加者からは「取り組みに協力していく必要があると思った」「子ども食堂の取り組みを初めて知った」などの声が聞かれました。

愛知県知事との懇談会



去る8月3日(水)に大村愛知県知事へ提出した、「2022-2023年政策要望書」に対する知事との懇談会を10月19日(水)に行いました。

県からは大村知事をはじめとする関係部局が、連合愛知からは会長はじめ副会長を中心とした役員が出席しました。

「2022-2023年政策要望書」における、特に重点的に取り組みが必要な10項目の政策について、県の取り組み状況の説明を受けるとともに、副会長から回答に対する深掘りした意見が出されるなど、活発な意見交換が行われました。

今回の内容を踏まえ、令和5年度予算への反映に向けて取り組みを進めています。



(左)連合愛知
(右)愛知県

懇談テーマ

- ①職業訓練やスキルアップに向けた機会の充実
 - ・再就職に向けた職業訓練の強化について
- ②DX・デジタル化に向けた支援の強化
 - ・DX・デジタル化に取り組む中小企業への支援強化と企業への促進強化
- ③男性の育児休業取得に向けた取り組みについて
 - ・男性の育児休業取得に向けた取り組み強化
- ④非正規雇用となっている労働者への支援と地方最低賃金の周知
 - ・非正規雇用となっている労働者の公正な待遇確保に向けた支援
- ⑤中小企業や公契約の元で働く労働者の賃金を守る取り組み
 - ・適正かつ公正な取引関係の構築と公契約条例の賃金条項導入
- ⑥ICT教育環境の強化とネットワーク環境の拡充について
 - ・ICT支援員の充実
 - ・東三河山間部のネットワーク環境の強化
- ⑦スクールソーシャルワーカー増員に向けて
 - ・スクールソーシャルワーカー人材確保と育成
- ⑧多胎児と低出生体重児の育児支援について
 - ・多胎児育児・低出生体重育児への支援強化
- ⑨愛知県人権尊重の社会づくり条例の推進について
 - ・今後の取り組みについて確認
- ⑩地域防災における関係団体、近隣県との連携について
 - ・大規模災害に備えた行政とNPO・ボランティア関連団体、近隣県との連携強化



連合愛知コンサート「名ファイルと共に」Web配信のお知らせ

10月1日(土)に開催された、連合愛知コンサート「名ファイルと共に」のWeb配信(アーカイブ配信)を行っております。ぜひ、ご視聴ください。



配信期間:2023年5月30日(火)まで

連合愛知ホームページ:<https://www.rengo-aichi.or.jp/>

*上記ホームページ内の「連合愛知会員専用ページ」に動画へのリンクを掲載します。

連合愛知会員
専用ページ

ログインID:rengo15
パスワード:cocoa



*試聴は無料です。ただし接続にかかる通信料は自己負担となります。

第20回統一地方選挙推薦状合同授与式

推薦候補予定者102名を対象に推薦状を授与



10月28日(金)に新政あいちと合同で統一地方選推薦状授与式を開催しました。県および各市町の各級選挙に立候補を予定している推薦候補予定者へ、可知会長と新政あいち塚本代表より推薦状が

授与されました。授与後、連合愛知松下副会長の発声でガンバロー三唱を行い、全推薦候補予定者の必勝を誓いました。



第13回(拡大)執行委員会

2022年10月24日

議事

- 1.連合愛知専従者業務規則の一部改定(案)
- 2.労働相談センター雇用契約について
- 3.連合労働相談センター中日本相談員雇用契約について
- 4.非専従役員の交代について

【副会長】

構成組織	新	旧
UAゼンセン	勘米良晃司	畠 偵一



【執行委員】

構成組織	新	旧
UAゼンセン	古瀬 賢人	加藤 博治
	梶浦 順子	村上 幸子
フード連合	松本 伊織	平塚 祐介
全自交	井上 修	本田 有

- 5.地域協議会運営規則・総会運営規程の一部改定(案)について
- 6.構成組織の組織拡大による新規の連合加盟について
- 7.第20回統一地方選挙取り組み方針(その1)(案)
- 8.第20回統一地方選挙必勝決議(案)
- 9.第20回統一地方選挙に伴う候補者推薦(第7次)について
- 10.刈谷市議会議員選挙に伴う候補者推薦について
- 11.尾張旭市長選挙に伴う候補者推薦について

確認事項

- 1.退任役員への功労記念品の贈呈について

2.各種委員会の委員交代について

委員会名	組織名	新	旧
仲間づくり支援委員会	UAゼンセン	芝池 雅生	林 誠悟
	全自交	井上 修	本田 有
中小・労働条件委員会	全自交	井上 修	本田 有
ジェンダー平等推進委員会	電力総連	小川I 詩織	内村 友美
社会運動委員会	UAゼンセン	土田 茂晴	中園 優一
	JAM	鈴木 基生	上村 武正
CNG委員会	UAゼンセン	好永 央	武田 和也

3.2023連合愛知新春交礼会について

- 4.東海ブロック女性会議への参加について
- 5.部落解放愛知県共闘会議「第47回定期総会」への参加について
- 6.2022年「人権週間」記念集会への参加について
- 7.12月の全国一斉集中労働相談ホットライン実施に伴う対応について
- 8.世界寺子屋運動「書き損じはがきキャンペーン」の展開について

報告事項

- 1.連合本部関係
- 2.連合東海ブロック関係
- 3.連合愛知関係
- 4.地域協議会関係
- 5.行政及び友誼団体関係

その他

- 1.「ACTION PLAN AICHI-IV」理解促進ツール「ポスター」の送付について
- 2.当面の日程について

第1回 執行委員会 2022年10月28日

確認事項

- 1.会長事故ある時の任務代行順位について
- 2.2023年度連合愛知事務局体制(案)について
- 3.2023年度連合愛知年間大日程について

「もしも」に備え
 「もしも」を防ぎ
 「もしも」に向き合う。



「こくみん共済 coop」は常利目的しない保険の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とやさある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済(全労済)
全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP



連合愛知ホームページ
 連合愛知の活動紹介、ブログ、各種資料データなどを掲載しています。
 ぜひ、ご覧ください。

